第3章

高齢者福祉に関するアンケート調査結果

(要介護認定者の方)

第3章 高齢者福祉に関するアンケート調査結果 (要介護認定者の方)

ご本人(要介護者)の状況について 1

(1)要介護者の家族構成

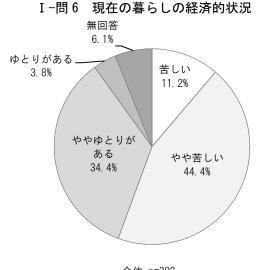
○家族構成をみると、「その他の世帯」(51.0%)が最も多く、次いで「単身世帯」(26.5%)、 「夫婦のみ世帯」(18.4%) となっています。

無回答. 4. 1% 単身世帯 26.5% その他 51.0% 夫婦のみ 世帯 18.4% 全体 n=392

I-問2 家族構成

(2) 要介護者の経済的状況

〇現在の暮らしの経済的状況をみると、「やや苦しい」(44.4%)が最も多く、次いで「や やゆとりがある」(34.4%)、「苦しい」(11.2%)「ゆとりがある」(3.8%) の順となっ ており、「苦しい」と「やや苦しい」を合わせると概ね6割弱の方が苦しいと回答してい ます。



全体 n=392

(3)要介護度別構成割合

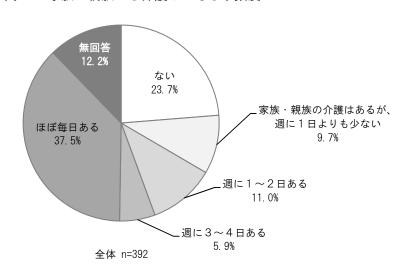
○要支援・要介護度別構成割合をみると、「要介護1」(29.1%)が最も多く、次いで「要介護2」(19.4%)、「要支援2」(15.3%)、「要介護3」(12.8%)の順となっています。

I-問7 要支援·要介護度別構成割合

-..

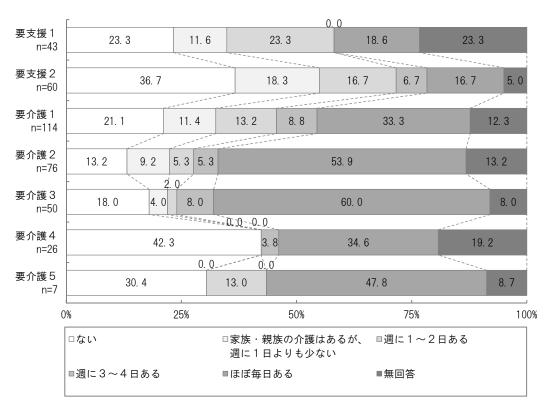
(4) 家族・親族による介護の頻度

○家族・親族から介護してもらう頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(37.5%)が最も多く、 次いで「ない」(23.7%)となっています。



Ⅰ-問14 家族・親族から介護してもらう頻度

○要介護度別にみた家族・親族による介護の頻度をみると、要支援1・2では「ない」 (23.3%・36.7%)が最も多くなっています。要介護1~3・5では「ほぼ毎日ある」 (33.3%~60.0%)が最も多く、次いで「ない」(13.2~30.4%)、要介護度4では「ない」(42.3%)、「ほぼ毎日ある」(34.6%)の順となっています。



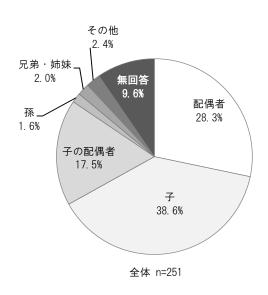
「要介護度」×「I-問14 家族・親族から介護してもらう頻度」

2 主な介護者等の状況(属性等)について

(1) 主な介護者の状況

- 〇要介護者からみた主な介護者をみると、「子」(38.6%)が最も多く、次いで「配偶者」 (28.3%)、「子の配偶者」(17.5%)の順となっています。
- ○主な介護者の性別をみると、女性が61.8%、男性が26.7%となっています。
- ○主な介護者の年齢をみると、「60~69歳」(29.1%)が最も多く、次いで「50~59歳」 (23.5%)、「70~79歳」(17.1%)の順となっています。

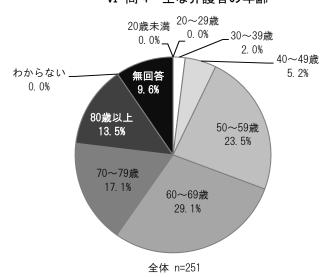
Ⅵ-問2 要介護者からみた主な介護者



Ⅵ-問3 主な介護者の性別

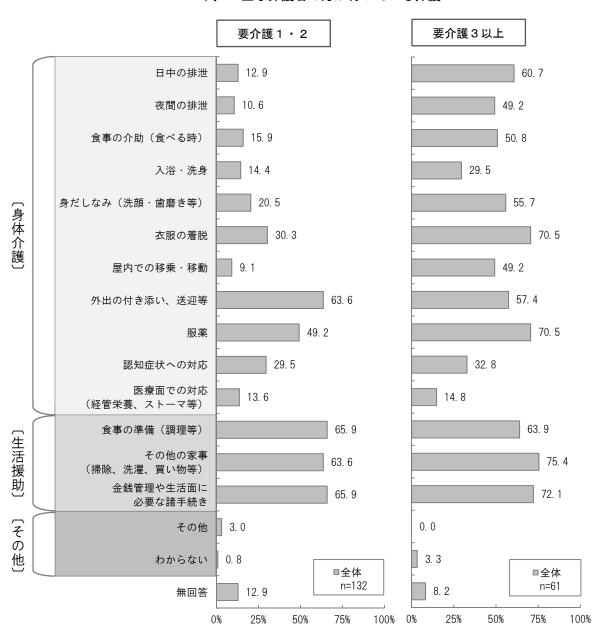
無回答 11. 6% 男性 26. 7% 女性 61. 8%

VI-問4 主な介護者の年齢



(2) 主な介護者の介護実態

- 〇主な介護者の方が行っている介護のうち身体介護をみると、要介護1・2では「外出の付き添い、送迎等」(63.6%)が最も多く、次いで「服薬」(49.2%)、「衣服の着脱」(30.3%)の順となっており、要介護3以上では「衣服の着脱」「服薬」(各70.5%)が最も多く、次いで「日中の排泄」(60.7%)、「外出の付き添い、送迎等」(57.4%)の順となっています。
- 〇生活援助をみると、要介護1・2では「食事の準備(調理等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各65.9%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(63.6%)の順となっており、要介護3以上では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(75.4%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(72.1%)、「食事の準備(調理等)」(63.9%)が多くなっています。

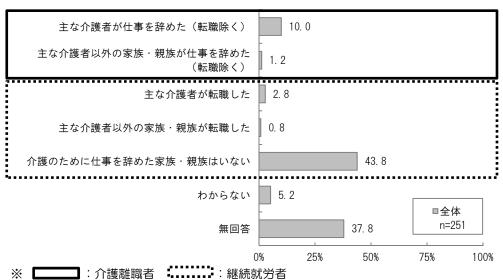


Ⅵ-問5 主な介護者の方が行っている介護

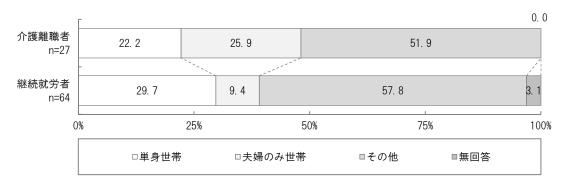
(3) 家族介護のために離職した状況

- ○家族・親族が介護を理由に辞職・転職したことの有無をみると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が10.0%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」が1.2%となっており、「主な介護者が転職した」が2.8%となっています。
- 〇介護離職者の家族構成をみると、「その他」(51.9%)、「夫婦のみ世帯」(25.9%)となっており、継続就労者と比べて「夫婦2人暮らし」が多い状況です。

VI-問1 家族・親族が介護を理由に辞職・転職したことの有無



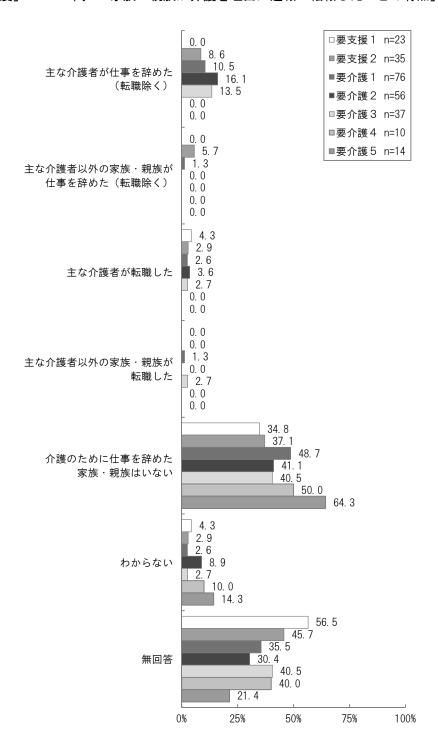
「介護離職者・継続就労者別」×「I-問2 該当する家族構成」



※継続就労者:①VI-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、VI-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

- ○要介護度別にみた家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無をみると、要支援 1・2では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(34.8%・37.1%)が最 も多く、次いで要支援1が「主な介護者が転職した」(4.3%)、要支援2が「主な介護者 が仕事を辞めた(転職除く)」(8.6%)の順となっています。
- ○要介護1~3では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(40.5%~48.7%) が最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(10.5%~13.5%)の順となっています。
 - ※要介護4~5は対象者が少数のためコメントを省略します。

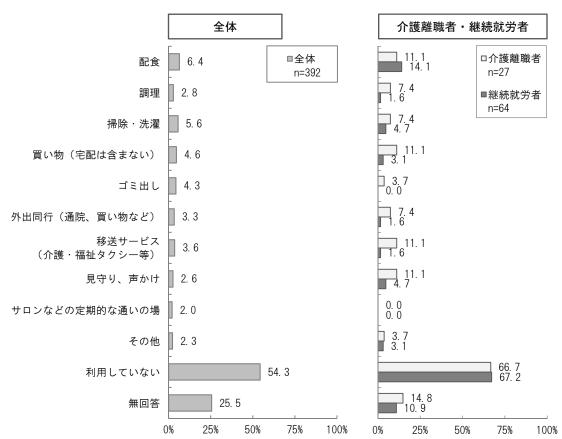
「要介護度」×「VI-問1 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無」



3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス

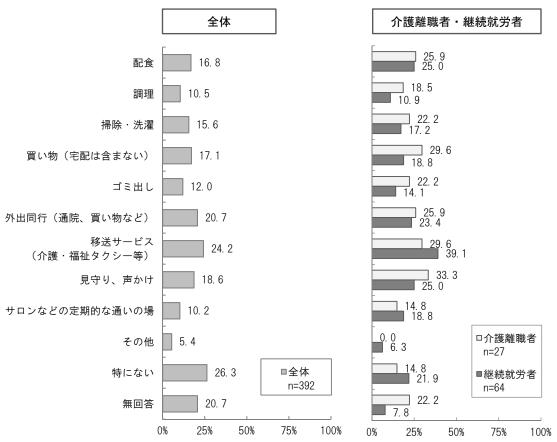
- ○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」 (54.3%)が最も多く、次いで「配食」(6.4%)、「掃除・洗濯」(5.6%)、「買い物(宅配は含まない)」(4.6%)、「ゴミ出し」(4.3%)の順となっています。
- ○介護離職者では、「利用していない」(66.7%)が最も多く、次いで「配食」「買い物(宅配は含まない)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」(各11.1%)の順となっています。
- 〇継続就労者では「利用していない」(67.2%)が最も多く、次いで「配食」(14.1%)、「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」(各4.7%)、「買い物(宅配は含まない)」(3.1%)の順となっています。
- ○介護離職者と継続就労者を比べると、「利用していない」以外で介護離職者の利用率が上回っています。



Ⅰ-問 11 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

※継続就労者: ①VI-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、VI-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

- ○在宅生活を続けていくために必要だと思う支援・サービスをみると、全体では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(24.2%)が最も多く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(20.7%)、「見守り、声かけ」(18.6%)、「買い物(宅配は含まない)」(17.1%)、「配食」(16.8%)の順となっています。
- ○介護離職者では、「見守り、声かけ」(33.3%)が最も多く、次いで「買い物(宅配は含まない)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(各29.6%)、「配食」「外出同行(通院、買い物など)」(各25.9%)の順となっています。
- 〇継続就労者では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(39.1%)が最も多く、「配食」「見守り・声かけ」(各25.0%)、「外出同行(通院、買い物など)」(23.4%)、「買い物(宅配は含まない)」「サロンなどの定期的な通いの場」(18.8%)の順となっています。
- ○介護離職者と継続就労者を比べると「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「サロンなどの定期的な通いの場」で継続就労者の利用意向が上回っており、それ以外は介護離職者の利用意向が上回っています。



Ⅰ-問 12 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

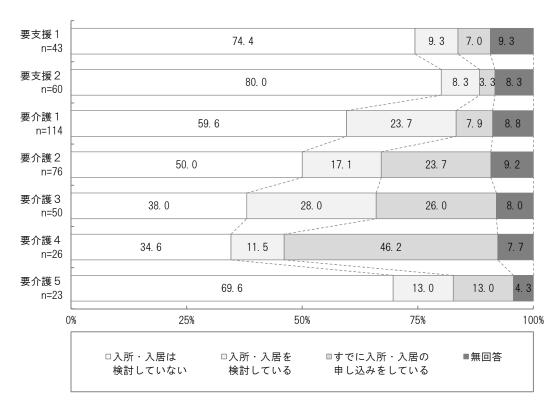
※継続就労者:①VI-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、VI-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

- ○施設等への入所・入居の検討状況をみると、「入所・入居は検討していない」(58.7%) が最も多く、次いで「入所・入居を検討している」(17.6%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(15.3%)の順となっています。
- ○要介護度別の検討状況をみると、要支援1・2では「入所・入居は検討していない」 (74.4%・80.0%)が最も多くなっています。要介護1~3では「入所・入居は検討し ていない」(38.0~59.6%)が最も多く、次いで要介護1・3が「入所・入居を検討し ている」(23.7%・28.0%)、要介護2が「すでに入所・入居の申し込みをしている」 (23.7%)の順となっています。また、要介護4は「すでに入所・入居の申し込みをし ている」(46.2%)が最も多くなっています。

全体 58. 7 17. 6 15. 3 8. 4 n=392 0% 25% 50% 75% 100% □入所・入居は □入所・入居を □すでに入所・入居の ■無回答 検討していない 検討している 申し込みをしている

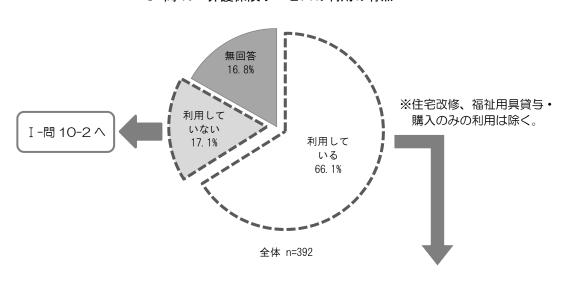
Ⅰ-問8 施設等への入所・入居の検討状況



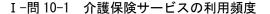


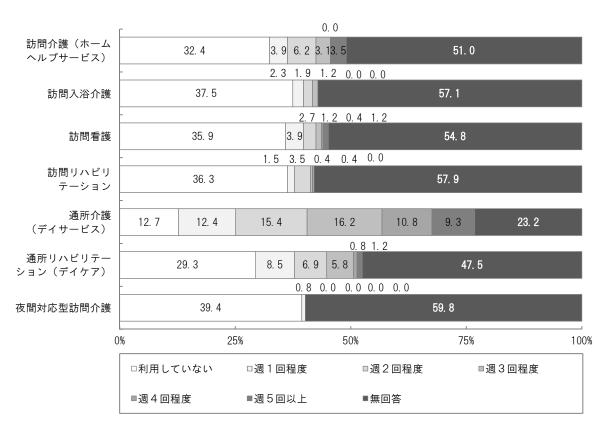
(2)介護保険サービスの利用状況

- ○介護保険サービスの利用の有無をみると、「利用している」が66.1%、「利用していない」が17.1%となっています。
- ○介護保険サービスの利用頻度をみると、「週1回程度」では「訪問入浴介護」「訪問看護」 「通所リハビリテーション(デイケア)」「夜間対応型訪問介護」、「週2回程度」では「訪問介護(ホームヘルプサービス)」「訪問リハビリテーション」、「週3回程度」では「通所介護(デイサービス)」が最も多くなっています。

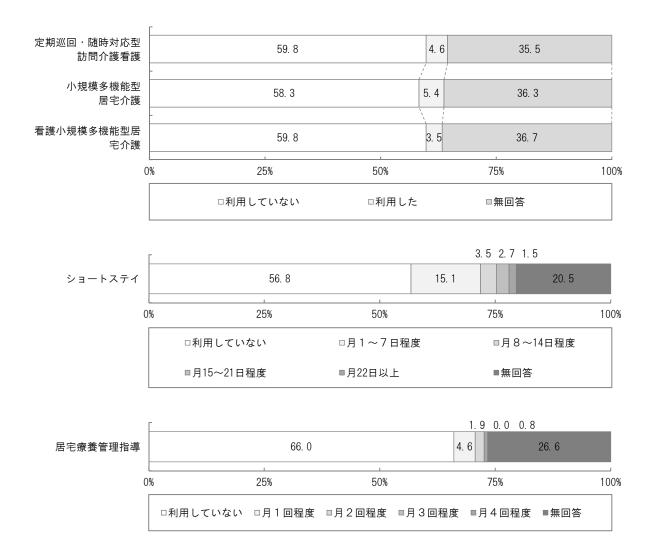


Ⅰ-問10 介護保険サービスの利用の有無



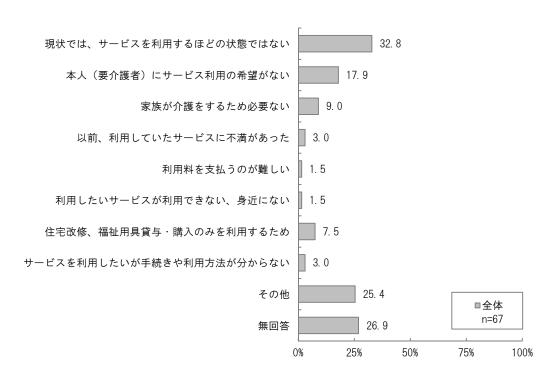


- 〇「定期巡回・随時対応型訪問看護介護」「小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型 居宅介護」では、「利用していない」が58.3%~59.8%、「利用した」が3.5%~5.4% となっています。
- ○「ショートステイ」では、「利用していない」(56.8%) が最も多く、次いで「月1~7 日程度」(15.1%)、「月8~14日程度」(3.5%) の順となっています。
- ○「居宅療養管理指導」では、「利用していない」(66.0%)が最も多く、次いで「月1回程度」(4.6%)、「月2回程度」(1.9%)の順となっています。

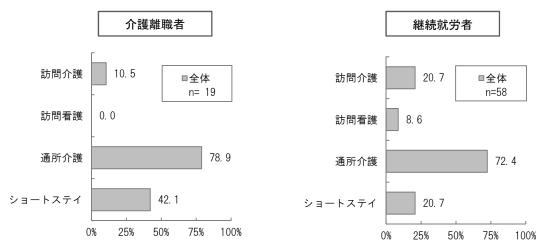


- ○介護保険サービスを利用していない理由をみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(32.8%)が最も多く、次いで「本人(要介護者)にサービス利用の希望がない」(17.9%)、「家族が介護をするため必要ない」(9.0%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(7.5%)の順となっています。
- 〇継続就労者の介護保険サービス利用では「通所介護」(72.4%)、「訪問介護」「ショートステイ」(各20.7%)、「訪問看護」(8.6%)の順となっています。
 - ※介護離職者の対象者が少数のためコメントを省略します。

Ⅰ-問 10-2 介護保険サービスを利用していない理由



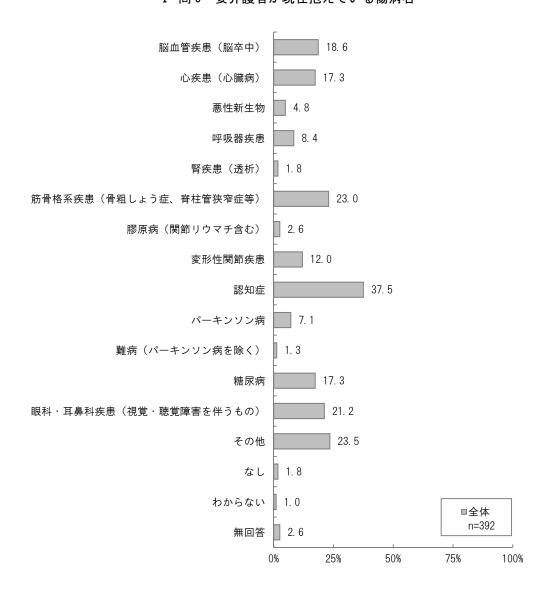
「介護離職者・継続就労者別」×「介護保険サービス利用状況」



※継続就労者:①VI-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、VI-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

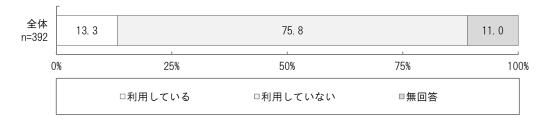
(3) 訪問診療の利用状況

- 〇要介護者が現在抱えている傷病をみると、「認知症」(37.5%)が最も多く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(23.0%)、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(21.2%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(18.6%)、「心疾患(心臓病)」「糖尿病」(各17.3%)の順となっています。
- ○訪問診療の利用状況をみると、13.3%が「利用している」と回答しています。



I-問9 要介護者が現在抱えている傷病名

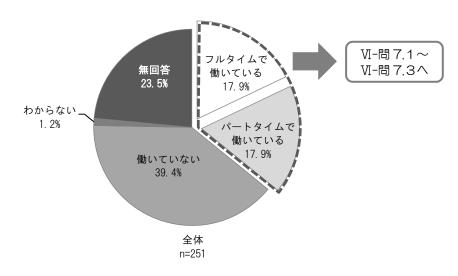




4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

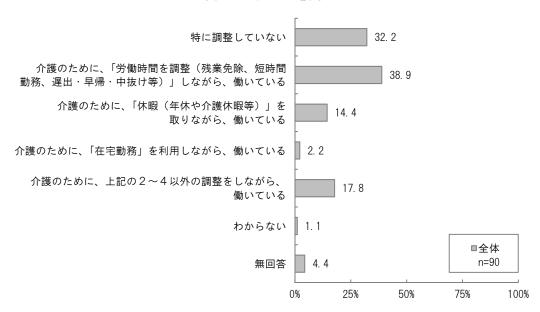
○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」 (各17.9%)と合わせると35.8%の方が就労しており、「働いていない」は39.4%でした。



VI-問7 主な介護者の現在の勤務形態

(2) 継続就労者(フルタイム・パートタイム)の就労実態と意向

○介護のために働き方を調整しているかをみると「介護のために、『労働時間を調整(残業 免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」(38.9%)が最も 多く、次いで「特に調節していない」(32.2%)、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」(17.8%)の順となっています。

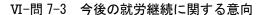


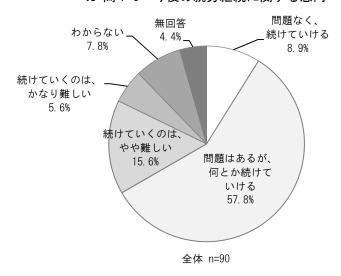
VI-問 7.1 働き方を調整しているか

- 〇仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(33.3%)が最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」(32.2%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(28.9%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(23.3%)の順となっています。
- ○今後の就労継続に関する意向をみると、「問題はあるが、何とか続けていける」(57.8%) が最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」(15.6%)、「問題なく、続けていける」(8.9%)の順となっています。

自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 18. 9 介護休業・介護休暇等の制度の充実 33. 3 制度を利用しやすい職場づくり 32. 2 28.9 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) 6. 7 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) 仕事と介護の両立に関する情報の提供 8. 9 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8.9 介護をしている従業員への経済的な支援 23. 3 その他 2. 2 特にない 7. 8 2. 2 わからない ■全体 n=90 7. 8 無回答 100% 0% 25% 50% 75%

Ⅵ-問 7-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

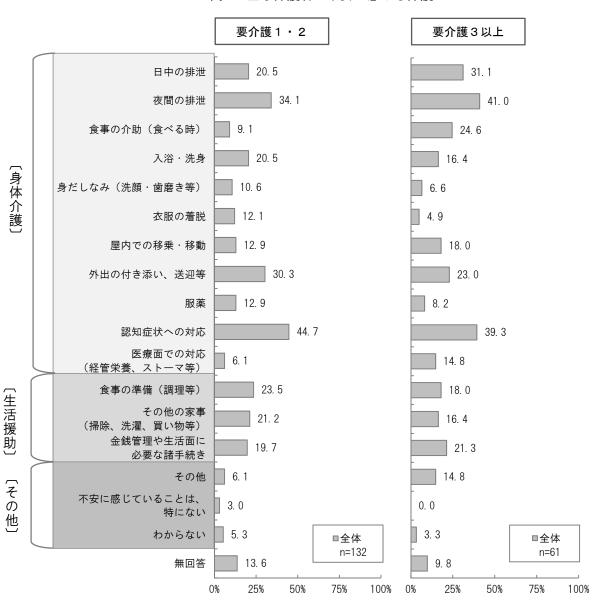




5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

(1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容

- 〇主な介護者が不安に感じる身体介護をみると、要介護1・2では「認知症状への対応」 (44.7%)が最も多く、次いで「夜間の排泄」(34.1%)、「外出の付き添い、送迎等」 (30.3%)、「日中の排泄」「入浴・洗身」(各20.5%)の順となっており、要介護3以上 では「夜間の排泄」(41.0%)が最も多く、次いで「認知症状への対応」(39.3%)、「日 中の排泄」(31.1%)、「食事の介助(食べる時)」(24.6%)、「外出の付き添い、送迎等」 (23.0%)の順となっています。
- ○生活援助をみると、要介護1・2では「食事の準備(調理等)」(23.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(21.2%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(19.7%)の順となっており、要介護3以上では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(21.3%)「食事の準備(調理等)」(18.0%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(16.4%)の順となっています。



VI-問6 主な介護者が不安に感じる介護

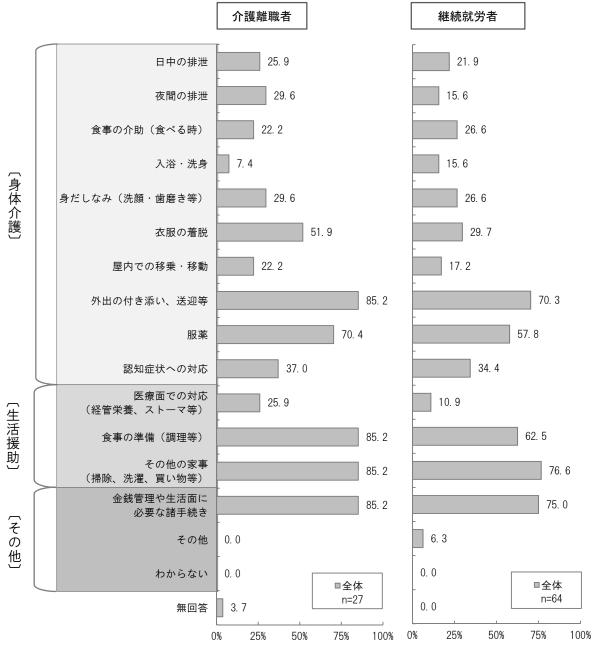
6 介護離職の要因について

主介護者の介護離職に関する要因を調べるために、①主介護者の介護環境、②主介護者の 就労環境、③要介護者の様態と介護実態、④介護給付サービス等の利用状況等について介護 離職者と継続就労者との差異を比較検討しました。

(1) 主な介護者を取り巻く介護環境

① 介護者が行っている介護の内容

- 〇介護離職者をみると、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(85.2%)が最も多く、次いで「服薬」(70.4%)、「衣服の着脱」(51.9%)、「認知症状への対応」(37.0%)、「夜間の排泄」「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(各29.6%)の順となっています。生活援助では、「食事の準備(調理等)」「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(各85.2%)となっています。
- 〇継続就労者をみると、身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(70.3%)が最も多く、次いで「服薬」(57.8%)、「認知症状への対応」(34.4%)、「屋内での移乗・移動」(29.7%)、「衣服の着脱」(29.7%)の順となっています。生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(76.6%)、「食事の準備(調理等)」(62.5%)の順となっています。



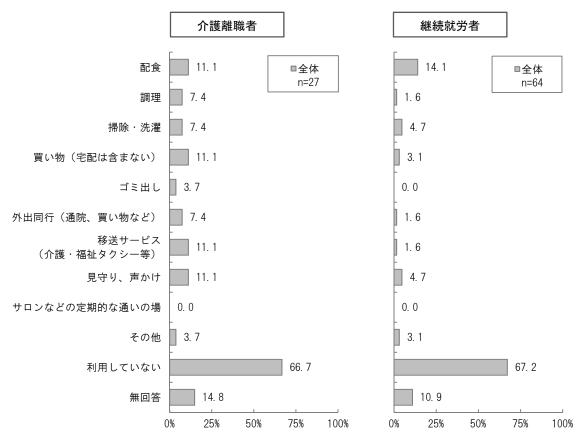
「介護離職者・継続就労者別」×「VI-問5 主な介護者の方が行っている介護」

※継続就労者: ①VI-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、VI-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

② 要介護者が利用している介護給付サービス以外の支援・サービス

- ○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、介護離職者では「配食」「買い物(宅配は含まない)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」(各11.1%)となっています。また、「利用していない」は66.7%でした。
- 〇継続就労者では、「配食」(14.1%)が最も多く、次いで「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」 (各4.7%)、「買い物(宅配は含まない)」(3.1%)の順となっています。また、「利用していない」は67.2%でした。

「介護離職者・継続就労者別」 × 「I-問11 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況」(再掲)

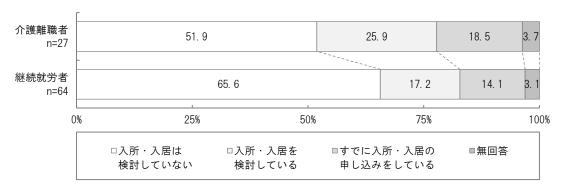


※継続就労者:①VI-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、VI-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

③ 施設等への入所・入居の検討

- ○施設等への入所・入居の検討状況をみると、介護離職者では「入所・入居は検討していない」(51.9%)、「入所・入居を検討している」(25.9%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(18.5%)となっています。
- 〇継続就労者では、「入所・入居は検討していない」(65.6%)、「入所・入居を検討している」(17.2%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(14.1%)となっています。
- ○介護離職者は、継続就労者により「入所・入居を検討している」が8.7xxx、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が4.4次多くなっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「I-問8 施設等への入所・入居の検討状況」



※継続就労者:①VI-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、VI-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

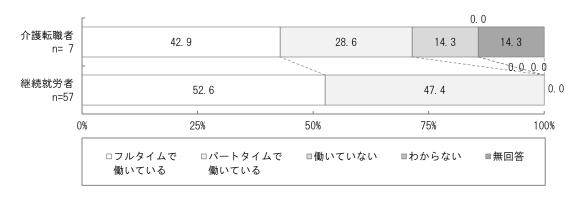
(2) 主な介護者に関する就労環境

ここでは、就労している主な介護者を介護転職者と継続就労者に細分化し、比較検討しています。

① 現在の勤務形態

- 〇継続就労者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」(52.6%)、「パートタイムで働いている」(47.4%)となっています。
 - ※介護転職者の対象者が少数のためコメントを省略します。

「介護転職者・継続就労者別」×「VI-問7 主な介護者の現在の勤務形態」

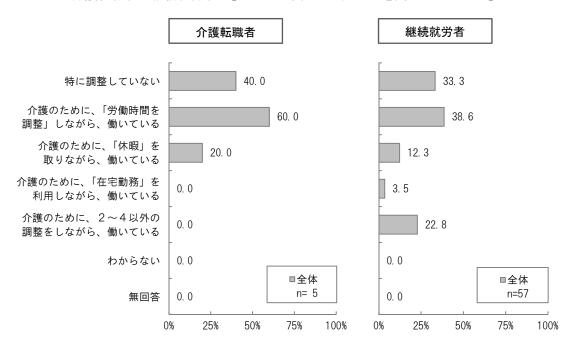


② 介護のために働き方の調整等

○介護のために働き方を調整しているかをみると、継続就労者では「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」(38.6%)が最も多く、次いで「特に調整していない」(33.3%)、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」(22.8%)の順となっています。

※介護転職者の対象者が少数のためコメントを省略します。

「介護転職者・継続就労者別」×「VI-問7.1 働き方を調整しているか」



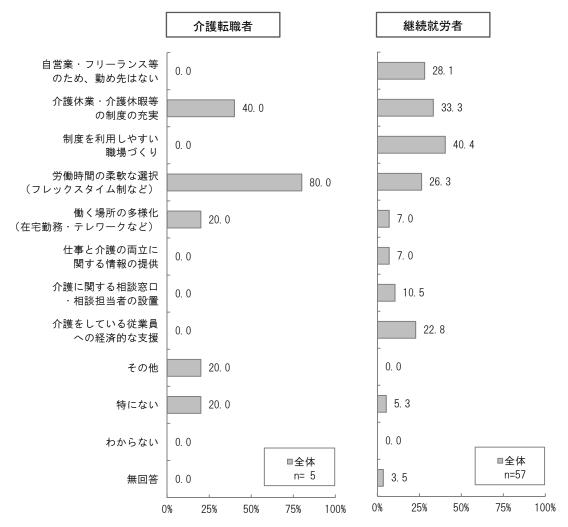
※介護転職者:①Ⅵ-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、Ⅵ-問7で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方の計

③ 仕事と介護の両立に効果的な職場の支援内容

〇継続就労者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援についてみると、 「制度を利用しやすい職場づくり」(40.4%)が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇 等の制度の充実」(33.3%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」 (26.3%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(22.8%)の順となっています。

※介護転職者の対象者が少数のためコメントを省略します。

「介護転職者・継続就労者別」 × 「VI-問 7.2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援」



※継続就労者:①Ⅵ-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、Ⅵ-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

④ 仕事と介護の両立に関して継続する意向

○継続就労者における今後の就労継続に関する意向をみると、「問題はあるが、何とか続けている」(64.9%)が最も多く、次いで「問題なく、続けていける」(12.3%)となっています。

※介護転職者の対象者が少数のためコメントを省略します。

「介護転職者・継続就労者別」×「VI-問7.3 今後の就労継続に関する意向」



※継続就労者:①Ⅵ-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、Ⅵ-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

(3)要介護者の様態と介護実態

0%

□要支援1

- 〇介護している方の要介護度をみると、介護離職者では「要介護1」「要介護2」(各33.3%) が最も多く、次いで「要介護3」(18.5%)、「要支援2」(14.8%)の順となっています。
- 〇継続就労者では「要介護1」(26.3%) が最も多く、次いで「要介護2」(19.3%)、「要支援2」(17.5%) の順となっています。
- 〇介護離職者と継続就労者と比べると、継続就労者より「要介護2」が 14.0^{**} 、「要介護3」が 6.2^{**} で高くなっています。

0.0 0.0 0.0 介護離職者 33. 3 14.8 33. 3 18. 5 n=27 継続就労者 10. 5 17. 5 26. 3 19. 3 12. 3 7. 0 7. 0 n=57

25%

「介護離職者・継続就労者別」×要介護者の「要介護度」

※継続就労者:①Ⅵ-問1で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、Ⅵ-問7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

50%

□要支援2 □要介護1 ■要介護2 ■要介護3 ■要介護4 ■要介護5

75%

100%

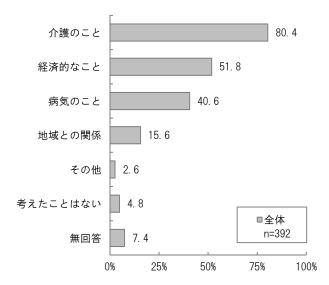
7 認知症について

- ○認知症についての周知状況をみると、「ある程度知っている」(62.8%)が最も多く、次いで「あまり知らない」(16.3%)、「よく知っている」(12.0%)の順となっており、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせると概ね7割強の方が知っていると回答しています。
- ○あなた自身や家族が認知症になった時の心配なことをみると、「介護のこと」(80.4%) が最も多く、次いで「経済的なこと」(51.8%)、「病気のこと」(40.6%) の順となっています。

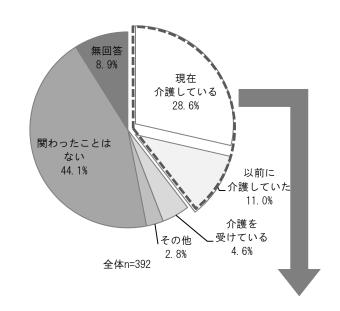
その他 無回答 0.3% 6.4% まったく よく 知らない 知っている 2. 3% 12.0% あまり 知らない 16. 3% ある程度 知っている 62.8% 全体 n=392

Ⅱ-問1 認知症についての周知状況

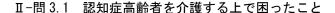


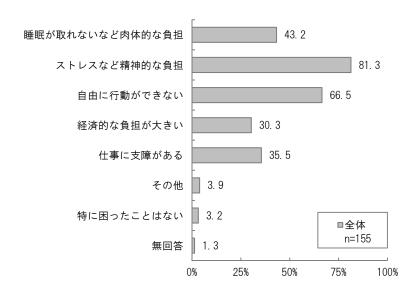


- 〇認知症高齢者の介護経験をみると、「現在介護している」(28.6%)、「以前に介護していた」(11.0%)を合わせた39.6%が経験ありと回答しています。
- ○認知症高齢者を介護する上で困ったことをみると、「ストレスなど精神的な負担」(81.3%) が最も多く、次いで「自由に行動できない」(66.5%)、「睡眠時間が取れないなど肉体的な負担」(43.2%) の順となっています。また、「特に困ったことはない」は3.2%でした。

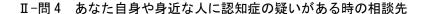


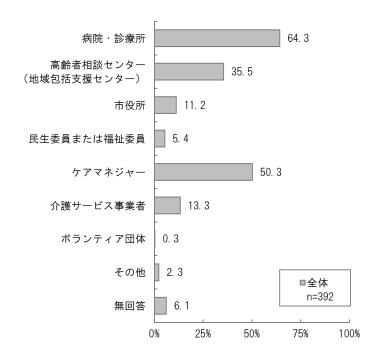
Ⅱ-問3 認知症高齢者の介護経験





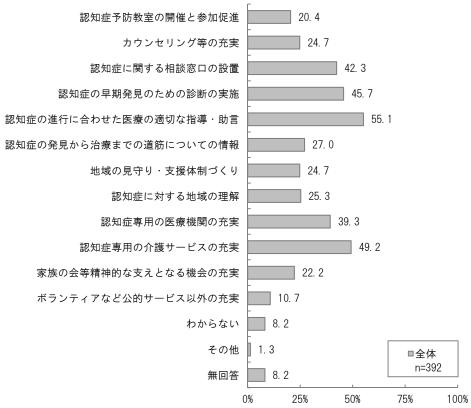
〇あなた自身や身近な人に認知症の疑いがある時の相談先をみると、「病院・診療所」 (64.3%)が最も多く、次いで「ケアマネジャー」(50.3%)、「高齢者相談センター(地 域包括支援センター)」(35.5%)の順となっています。





○認知症に対する支援として必要なことをみると、「認知症の進行に合わせた医療の適切な 指導・助言」(55.1%)が最も多く、次いで「認知症専用の介護サービスの充実」(49.2%)、 「認知症の早期発見のための診断の実施」(45.7%)、「認知症に関する相談窓口の設置」 (42.3%)、「認知症専用の医療機関の充実」(39.3%)の順となっています。

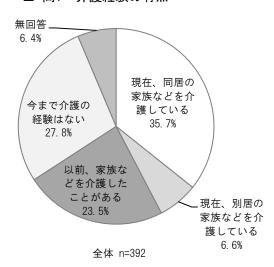
Ⅱ-問5 認知症に対する支援として必要なこと



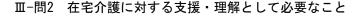
8 家族介護について

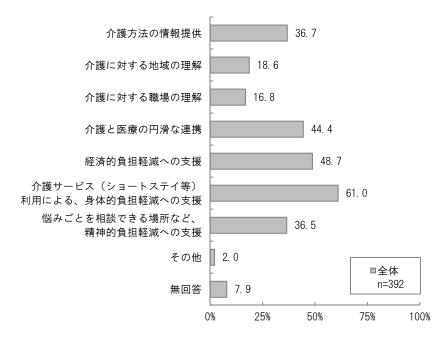
(1)介護に対する考え

- ○介護経験の有無をみると、「現在、同居の家族などを介護している」(35.7%)が最も多く、次いで「今まで介護の経験はない」(27.8%)、「以前、家族などを介護したことがある」(23.5%)、「現在、別居の家族などを介護している」(6.6%)の順となっています。
- 〇在宅介護をする家族に対する支援として必要なことをみると、「介護サービス(ショートステイ等)利用による、身体的負担軽減への支援」(61.0%)が最も多く、次いで「経済的負担軽減への支援」(48.7%)、「介護と医療の円滑な連携」(44.4%)の順となっています。



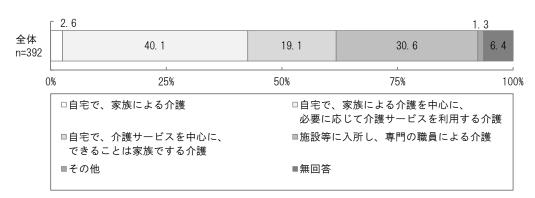
Ⅲ-問1 介護経験の有無





○今後の高齢者介護のあり方として望ましいことをみると、「自宅で、家族による介護を中心に、必要に応じて介護サービスを利用する介護」(40.1%)が最も多く、次いで「施設等に入所し、専門の職員による介護」(30.6%)となっています。

Ⅲ-問3 今後の高齢者介護のあり方として望ましいこと



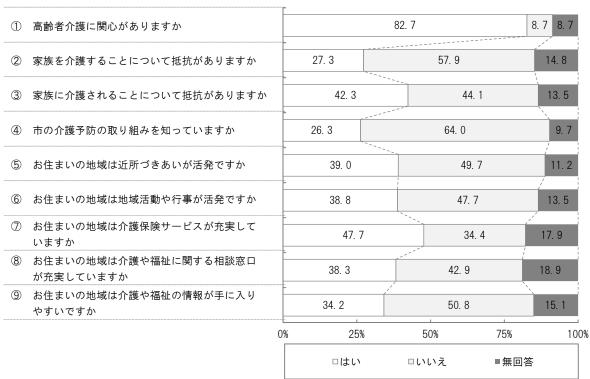
9 高齢者福祉の認識について

(1) 高齢者福祉に対する認識

- 〇高齢者介護への関心があるかをみると、82.7%が関心があると回答しています。
- ○家族を介護することについての抵抗感の有無をみると、57.9%が抵抗がないと回答しています。また、家族に介護されることについての抵抗感の有無においても、44.1%が抵抗がないと回答しています。
- 〇市の介護予防の取り組みについての周知状況をみると、64.0%が知らないと回答しています。
- 〇住んでいる地域についてみると、近所づきあいでは49.7%が、地域活動や行事では 47.7%が活発ではないと回答しています。
- ○介護保険サービスが充実しているかでは47.7%が充実していると回答しています。
- ○介護や福祉についてみると、42.9%が相談窓口が充実していないと回答し、50.8%が情報が手に入りにくいと回答しています。

Ⅳ-問1 高齢者福祉の認識に関する事柄

n=392



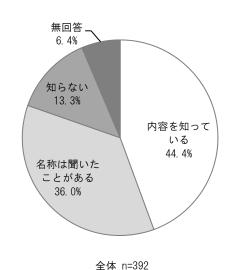
○「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」についての周知状況をみると、「相談などで利用したことがある」(43.9%)が最も多く、次いで「知らない」(18.9%)、「名前は聞いたことがある」(15.8%)、「場所や名前を知っている」(11.0%)、「何をやっているのか知っている」(6.1%)の順となっています。

全体 4. 3 6. 1 43. 9 11.0 15.8 18. 9 n=392 100% 0% 25% 50% 75% □相談などで利用したことがある □何をやっているのか知っている □場所や名前を知っている ■名前は聞いたことがある ■知らない ■無回答

Ⅳ-(2) 高齢者相談センター(地域包括支援センター)についての周知状況

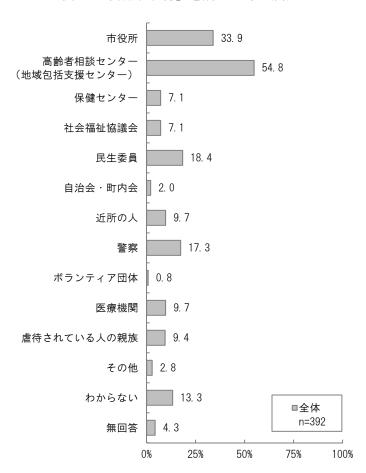
(2) 高齢者虐待について

○「高齢者虐待」についての周知状況をみると、「内容を知っている」(44.4%)が最も多く、次いで「名称は聞いたことがある」(36.0%)となっています。一方、「知らない」は13.3%でした。



Ⅳ-問3 「高齢者虐待」についての周知状況

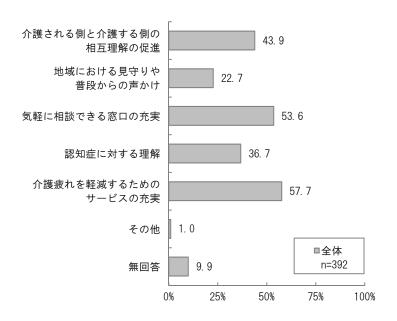
○「高齢者虐待」を疑った時の相談先をみると、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」(54.8%)が最も多く、次いで「市役所」(33.9%)、「民生委員」(18.4%)、「警察」(17.3%)の順となっています。また、「わからない」が13.3%でした。



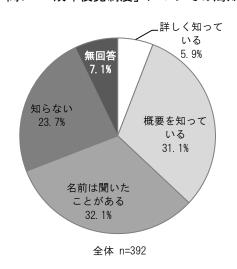
Ⅳ-問4 「高齢者虐待」を疑った時の相談先

- 〇高齢者虐待を防止するために必要なことをみると、「介護疲れを軽減するためのサービスの充実」(57.7%)が最も多く、次いで「気軽に相談できる窓口の充実」(53.6%)、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(43.9%)の順となっています。
- ○「成年後見制度」についての周知状況をみると、「名前は聞いたことがある」(32.1%) が最も多く、次いで「概要を知っている」(31.1%)となっています。「知らない」は23.7% でした。

Ⅳ-問5 高齢者虐待を防止するために必要なこと

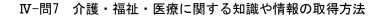


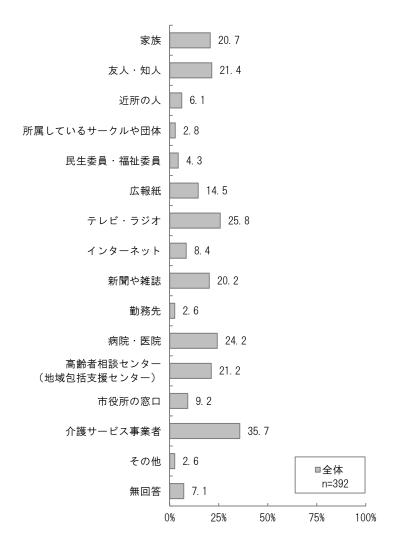
Ⅳ-問6 「成年後見制度」についての周知状況



(3)介護・福祉・医療に関する情報について

〇介護・福祉・医療に関する知識や情報の取得方法をみると、「介護サービス事業者」(35.7%) が最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」(25.8%)、「病院・医院」(24.2%)、「友人・知人」(21.4%)、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」(21.2%)の順となっています。



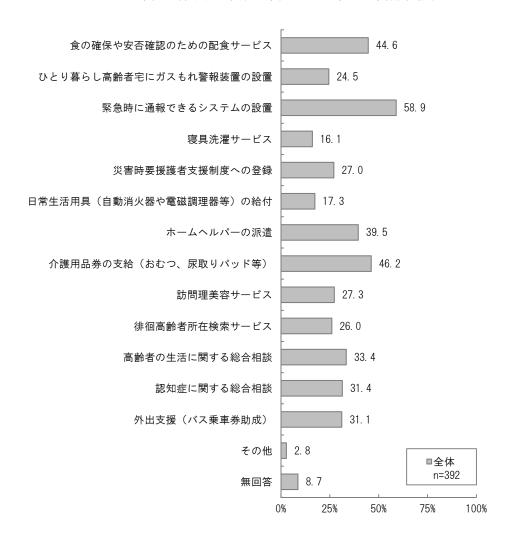


10 今後の高齢者福祉について

(1)必要な高齢者福祉サービス

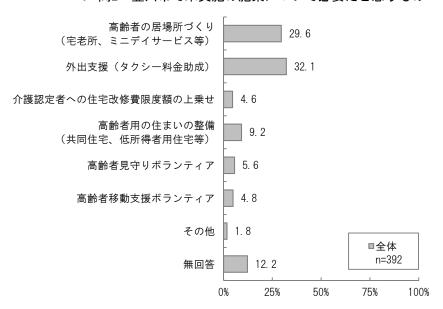
〇将来、必要性が高まると思われる高齢者福祉サービスをみると、「緊急時に通報できるシステムの設置」(58.9%)が最も多く、次いで「介護用品券の支給(おむつ、尿取りパッド等)」(46.2%)、「食の確保や安否確認のための配食サービス」(44.6%)、「ホームヘルパーの派遣」(39.5%)、「高齢者の生活に関する総合相談」(33.4%)の順となっています。

Ⅴ-問1 将来、必要性が高まると思われる高齢者福祉サービス



- 〇豊川市で未実施の施策について必要だと思うものをみると、「外出支援(タクシー料金助成)」(32.1%)が最も多く、次いで「高齢者の居場所づくり」(宅老所、ミニデイサービス等)」(29.6%)、「高齢者用の住まいの整備(共同住宅、低所得者住宅等)」(9.2%)の順となっています。
- 〇住み慣れた地域で最後まで過ごすために望む施策をみると、「困ったとき、気軽に相談できる窓口の設置」(48.0%)が最も多く、次いで「24時間対応の介護・医療サービスの提供」(43.9%)、「介護・福祉・医療情報の提供」(34.4%)の順となっています。

Ⅴ-問2 豊川市で未実施の施策について必要だと思うもの



Ⅴ-問3 住み慣れた地域で最後まで過ごすために望む施策

